

(公財)防府市文化振興財団内連携事業／ 紅葉どんぐり便

山口県 防府市立防府図書館

基本データ

所在地	山口県防府市栄町一丁目 5番1号 ルルサス防府3階
職員数	24人
うち司書数	15人
蔵書数	約508,000冊
利用登録者数	約40,000人
年間貸出冊数	約586,000冊
(児童用図書貸出数 約195,000冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- (1) (公財)防府市文化振興財団内連携事業
利用者に他館で開催する企画展情報を提供する。また、図書を通して、他館での学びや体験についての理解や興味をより深める。
- (2) 紅葉どんぐり便
地元ラジオ局とも連携し、市民に、自然への関心を持たせる。

取組・活動の概要

(1) (公財)防府市文化振興財団内連携事業

- 公益財団法人防府市文化振興財団が指定管理者として管理運営する3施設において実施する文化(美術・音楽)、科学、文学に関する企画展示等に連携し、図書資料を紹介したり、資料展示を実施したりする。

【対象】企画展内容により異なる

【頻度】年間5回程度

【時期】企画展開催期間中

【活動事例】

(平成30年度)

- アスピラート美術事業「マイメロディ・キキ&ララ展」に合わせ、関連図書展示「みんな大好き・サンリオ」を実施。
- アスピラート美術事業「山下清とその仲間たちの作品展」に、図書館から往時の新聞等の資料を提供し展示。関連図書展示「画家・山下清の世界」を実施。
- ソラール夏の企画展「ニンニン忍者展～忍びの学び! ニンジャ道場～」に関連し、「忍者」に関する資料展示「ニンニン・忍者!」を実施。また、リーフレット、ミニブック、かわらばんを作成した。リーフレットとかわらばんは、館内およびソラールで配付し、図書館カウンターに合言葉を言いに来てくださった利用者に、ミニブックをプレゼントする企画を実施。

- 山頭火ふるさと館等で開催された山口県地域活動(母親クラブ)東部ブロック研修大会において、図書館長による防府出身文学者についての講演・ギャラリートーク「ふるさとの文学者の話」を実施。

(令和元年度)

- ソラール春の特別展「究める! マグネット展」に関連した「磁石」に関する資料展示「磁石のふしぎ」を実施。
- ソラール秋の特別展「もぐもぐ探検隊! ~くちから"おしり"まで~」に関連した「消化器官」や「からだ」に関する資料展示「もぐもぐ探検隊!」を実施。
- アスピラート音楽事業「第19回防府音楽祭」に関連する「和太鼓、林英哲、展覧会の絵、ムソルグスキー、ハルトマン」等に関する図書・AV資料展示を実施。

(2) 紅葉どんぐり便

【対象】指定無

【頻度】毎年1回

【時期】10月中旬~12月初旬

- コミュニティラジオ局プラザFM(愛称:FMわっしょい)と防府市青少年科学館が、紅葉やどんぐりの種類が少ない沖縄の小学生の生活科の授業に役立ててもらおうと、山口県内で採集したどんぐりと紅葉を、2007年から毎年送っている取組。

- どんぐりと紅葉の採集のお願いと受付を、3年前から防府図書館も協力している。
- 図書館は、チラシの作成・配付、館内および移動図書館車でのどんぐりと紅葉の受付を行った。

取組・活動の工夫や特徴

(1) (公財) 防府市文化振興財団内連携事業

- 財団事務局(防府市公会堂)を含めた5館にそれぞれ担当を置き、情報交換や企画の推進のため毎月1回の会議を実施している。

(2) 紅葉どんぐり便

- ソラールの実施する「どんぐり教室」「紅葉教室」に図書館職員も参加し、どんぐりの処理方法や紅葉のメカニズムなどの知識を深めるよう努めている。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) (公財) 防府市文化振興財団内連携事業

【効果】

- 関連資料展示の場所に置いてあるチラシを多く手にしてもらったことで、市民へ同財団内の文化・科学・文学イベントを広く情報提供することができた。また、展示している図書の貸出が多くあったことから、図書資料で学ぶことにより、利用者のより踏み込んだ理解や興味の向上につながったと考えられる。さらに、図書館における企画展示のテーマの幅も広がった。
- 図書館職員が様々なジャンルの催事に関わることにより、他館事業への関心の深まりや、展示手法や運営、広報の方法など、図書館職員のスキルアップにつながった。

【今後の展望】

- 令和2年度は、4館が同時に連携する事業を計画。分野の違う4施設に共通のテーマ「アナザー・ワールド」を掲げ、それぞれの館で日常や常識を覆すような企画展示を行う。合わせてスタンプラリーを行い、4館すべてを巡っていたためだけのしかけを設けることにより、普段は訪れない他施設に足を運んでいただき、全体の来館者増を図る。

(2) 紅葉どんぐり便

【効果】

- 図書館がこの事業に加わり今年3年目となるが、図書館にどんぐりや紅葉を持参した方は、図書館を通じてこの事業を知った方が多く、市民の協力者の増加につながった。幅広い世代の市民への広報の場として図書館を有効に活用することができた。

【今後の展望】

- 今後も引き続き実施し、図書資料、どんぐりの現物展示とどんぐり同定クイズなど新たな企画に取り組みたいと考えている。